
令和4年度 公開講座のご案内

大正大学オープンカレッジ



ごあいさつ

大正大学は、仏教精神の建学理念に基づき「こころ」を育む講座を中心とし、昭和43年に巣鴨キャンパスにおいて公開講座をスタートさせてから54年になります。

また、本学では、大きな四つの教育ビジョン（慈悲・自灯明・中道・共生）を掲げ、人間形成・教育活動に取り組んでおります。現役学生の皆さんだけでなく、あらゆる人への開かれた「知識提供の場」を目指して、仏教のみならず、文化・教養、歴史、人間探究、芸術などさまざまな講座を開講してまいりました。本学オープンカレッジは、皆さんの趣味・関心にあわせ、さまざまな講座を大いに利用していただけるよう、今後も講座の充実をはかってまいります。皆さんの学習のお役に立てるよう、精一杯お手伝いをさせていただきますので、よろしくお願い申し上げます。

大正大学オープンカレッジ

CONTENTS (目次)

大正大学オープンカレッジ

■ オープンカレッジ

オープンカレッジの講座案内	3
オープンカレッジ時間割	4
A. 仏教講座	5
B. 芸術・文化講座	13
C. 特別講座	19

■ 書道カレッジ

書道カレッジの講座案内	23
書道カレッジの時間割	24
A. 基礎コース	25
B. 専攻コース	28
C. スペシャルコース	32

■ 講座申込方法のご案内

■ 個人情報の取扱いについて

■ 新型コロナウイルス感染拡大防止及び入構について

大正大学オープンカレッジの講座案内

2022 年度の大正大学オープンカレッジでは、本学教員をはじめ各専門分野の講師の方々による、仏教、芸術、文化などの様々な講座をご用意いたしました。どなたでも受講することができ、また受講生の趣味や関心、学習目的に応じて学ぶことができます。初めて受講される方も継続受講生と一緒に、楽しく学べるよう講座の充実に心がけ企画いたしました。ご知友をお誘い合わせのうえ、本学オープンカレッジ「日本の伝統文化のこころ」を育む講座を、ぜひご利用いただければ幸いです。

■ 講座群のご紹介

A. 大正大学ならではの仏教講座群

天台宗・真言宗豊山派・真言宗智山派・浄土宗の四宗派を擁する本学ならではの大きな特長でもある充実の仏教講座。一般の方にもわかりやすく、やさしく学べるよう幅広い講座をご用意いたしました。懐深き仏教の世界と歴史、その思想に触れてみてください。

B. 伝統の芸術・文化講座群

優美な仏教美術である仏画、厳かな仏像など人気の講座を今年も開講いたします。芸術に触れる豊かな時間を過ごし、作品作りの楽しさに触れてみてください。

A. 仏教講座

- A1 [特別講座] 一大正大学学長に聴くー 数学から見る仏教の世界 高 橋 秀 裕
- A2 『金剛頂経』の説く大日如来について 大 塚 伸 夫
- A3 法華経の物語り～譬え話や昔話で学ぶ法華経の教え～ 塩 入 法 道
- A4 日本仏教の歴史⑥ ～中世から近世へ～ 林 田 康 順
- A5 古代インドの僧院生活 ～『大衆部説出世律・比丘威儀法』を中心に～ 米 澤 嘉 康
- A6 空海の思想と心の真相 ～空海の思想を探る～ 本 多 隆 仁
- A7 江戸時代の暮らしと文化～江戸の街の成立と生活文化～ 塩 入 亮 乗
- A8 臨床仏教入門～仏教と看護～ 吉 水 岳 彦

B. 芸術・文化講座

- B1 仏さまを描く～写仏と彩色～ 腰 塚 勝 也
- B2 あなたにも楽しめる仏像彫刻①～お地蔵さまを彫る～ 榎 本 宣 道
- B3 あなたにも楽しめる仏像彫刻②～観音さまを彫る～ 榎 本 宣 道
- B4 はじめての仏像彫刻入門① 10～12月～掌に乗るお地蔵さまから始めよう～ 浅 葉 哲 休
- B5 はじめての仏像彫刻入門② 1～3月～清々しいヒノキの香りに包まれて～ 浅 葉 哲 休
- B6 写経と法話の会 B S R 推進室

C. 特別講座

- S1 「地域共生社会」と「ケア」の文化を考える 村 木 厚 子
- 新たなケアの文化と地域社会～精神文化の役割の変容～ 島 蘭 進
- S2 看取りと仏教 大 塚 伸 夫
- 都市における孤立と仏教的な支縁 吉 水 岳 彦
- S3 支援は地域・現場・当事者の視点で 片 山 善 博
- 地域の多様な組織・団体との連携と協働 ～地域共生社会の実現に向けて～ 神 山 裕 美

2022 年度オープンカレッジ 時間割

1 限	9 : 00 ~ 10 : 40
2 限	10 : 50 ~ 12 : 30
3 限	13 : 20 ~ 15 : 00
4 限	15 : 10 ~ 16 : 50
5 限	17 : 00 ~ 17 : 50
6 限	18 : 10 ~ 19 : 40

時間割が変更となっております。受講の際は、時間帯にお間違いのないようにお越してください。なお、教室には開講の 10 分前からご入室いただけます。

※上記に相当しない講座もあります。必ず各講座のページで時間帯をご確認ください。

※学校の授業時間とは異なります。チャイムが鳴ることがありますが予めご了承ください。



■ 講座

—大正大学学長に聴く—

数学から見る仏教の世界

■ 講師

高橋秀裕

[大正大学 学長]



■ 概要

曜 日＝木曜日 時 間＝3 限（13：20～15：00）

定員数＝60 名 受講料＝2,000 円

■ 講座紹介

仏教の中には時間の進み方さえ変えてしまうほどの想像力があります。仏教を少し数学的に見るだけで、その壮大な想像力を味わえて、仏教が少し楽しいものとなるかもしれません。今回は数学の世界から仏教を見つめてみたいと思います。

■ 講義内容（全1回）

数学から見る仏教の世界……………12月1日

■ 教材

資料は講座当日に配付いたします。



■ 講座

『金剛頂経』の説く大日如来について

■ 講師

大塚 伸 夫

[大正大学仏教学部教授・大正大学前学長]



■ 概要

曜 日＝水曜日 時 間＝2 限（10：50～12：30）

定員数＝30 名 受講料＝2,000 円

■ 講座紹介

中期密教の代表経典といえる『金剛頂経』に説かれる大日如来は『大日経』とは異なった様相で説かれています。その特徴は、本経の序分に明かされますが、この序分が「通序」と「別序」に分かれていて、二面性をもつ大日如来の特徴がよく分かるように示されています。

本講座ではこの序分に説かれている大日如来の二面性を取り上げて、大日如来と私たち衆生との関係を論じてみたいと考えております。そのため、専門的には『金剛頂経』における「仏陀論」を取り上げることになります。少々、難解なところもあるかと存じますが、なるべく平易にお話しさせていただきますので、皆さまのご参加を心待ちにしております。

■ 講義内容（全1回）

『金剛頂経』の説く大日如来について……………11月30日



■ 講座

法華経の物語り ～譬え話や昔話で学ぶ法華経の教え～

■ 講師

塩入法道

[大正大学仏教学部教授・信濃国分寺住職]



■ 概要

曜 日＝木曜日 時 間＝2 限（10：50～12：30）

定員数＝30 名 受講料＝10,000 円

■ 講座紹介

『法華経』は東アジアにおいて最も信仰され愛好された大乘仏典であり、日本においても仏教のみならず、美術や文芸などの日本文化にも大きな影響を与えた。また、『法華経』は「法華七喻」と称される巧みな譬え話や昔話に彩られ、思想内容がわかりやすく説かれている。

本授業では①三車火宅喻、②長者窮子喻、③薬草喻、④化城喻、⑤衣珠喻、⑥髻珠喻、⑦良医喻の「法華七喻」を中心に、印象深い物語やエピソードを紹介し、そこに込められた大乘仏教精神を考えてみたい。

■ 講義内容（全5回）

第1回（1）はじめに：『法華経』について

（2）昔のできごと（法華経に出会った因縁）

・「文殊菩薩の思い出」・「大通智勝如来の話」……10月13日

第2回（3）巧みな手だて（方便と真実）①

・「三車火宅の喩え」・「長者窮子の喩え」……10月20日

第3回（4）巧みな手だて（方便と真実）②

・「化城の喩え」・「良医の喩え」……10月27日

第4回（5）仏の心は普く伝わる（普遍的な慈悲）

・「薬草の喩え」・「衣珠の喩え」・「髻珠の喩え」…11月10日

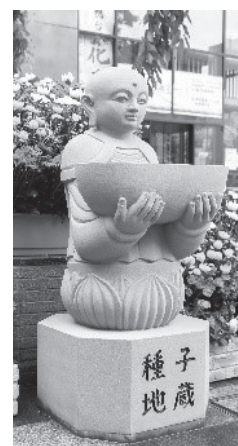
第5回（6）過去の修行の物語（過去世の因縁）

・「阿難と羅喉羅」・「提婆達多」・「薬王菩薩」

（7）振り返りとまとめ……11月17日

■ 教材

資料は適宜、配布いたします。



■ 講座

日本仏教の歴史⑥

～中世から近世へ～

■ 講師

林田 康順

[大正大学仏教学部教授・仏教学部長]



■ 概要

曜 日＝木曜日 時 間＝3 限（13：20～15：00）

定員数＝30 名 受講料＝10,000 円

■ 講座紹介

インドから中国、日本、さらにはチベットや東南アジアへと展開し、さまざまな思想や文化と融合しながら発展してきた仏教。そこには私達を幸せに導く智慧が豊かに息づいています。本講座では、およそ 1500 年前にわが国に伝来した仏教を日本人はいかに受容し、人々の心の内に根付いていくこととなったのかについて、中世から近世にかけての状況を中心に学んでいきたいと思います。

■ 講義内容（全5回）

- 第1回 叡尊・忍性……………10月20日
- 第2回 室町時代の仏教……………11月24日
- 第3回 戦国時代の仏教……………1月19日
- 第4回 江戸時代の仏教統制……………3月2日
- 第5回 江戸時代の仏教運動と民衆の信仰…3月30日

■ 受講生のみなさまへ

みなさん、こんにちは。林田康順と申します。この講座では、日本仏教の歴史について、初心者向けに、やさしく丁寧に学んでいきたいと思っています。ご一緒に仏さまの智慧と慈悲を感じて参りましょう。

■ 教材

資料は適宜、配布いたします。



■ 講座

古代インドの僧院生活 ～『大衆部説出世部律・比丘威儀法』を中心に～

■ 講師

米澤 嘉康

[大正大学准教授]



■ 概要

曜 日＝月曜日 時 間＝4 限（15：10～16：50）

定員数＝30 名 受講料＝10,000 円

■ 講座紹介

本講座ではインドの僧院で、僧侶たちがどのように生活していたのかについて、主にインドの文献にもとづいて垣間見ようと思います。

最初の回で、戒律やその資料など全般的なことを説明します。そして、残りの4回はその資料に記されている具体的な内容を紹介、解説していきます。

■ 講義内容（全5回）

第1回 『大衆部説出世部律・比丘威儀法』…… 10月17日

第2回 僧院での作法 …………… 10月31日

第3回 僧院での日常生活（衣）…………… 11月21日

第4回 僧院での日常生活（食）…………… 12月 5日

第5回 僧院での日常生活（住）…………… 12月19日

■ 教材

資料は適宜、配布いたします。



■ 講座

空海の思想と心の真相 ～空海の思想を探る～

■ 講師

本多 隆 仁

[元大正大学教授・大田区薬王寺前住職]



■ 概要

曜 日＝火曜日 時 間＝4 限（15：10～16：50）

定員数＝30 名 受講料＝10,000 円

■ 講座紹介

心とは自分と不可分であり、日々変化して不思議なものです。「心が痛い」、「心がみだれる」、「心を鬼にする」、「心に刻む」と「心」に関する表現がたくさんあります。「心」は不可解です。空海は密教思想に基づいているといわれています。密教思想における「心」は、密教成立以前の思想を受けています。その点を踏まえ、空海がどのように心を捉えていたのか、そして心の真相を見極めていたかを探り、空海思想の一端に迫りたいと思います。

■ 講義内容（全5回）

- 第1回 空海思想以前の心の捉え方……………10月18日
- 第2回 如来蔵思想における心の特徴……………11月8日
- 第3回 大乘起信論における心の麁と細……………11月22日
- 第4回 密教思想における心の特徴……………12月6日
- 第5回 空海思想における心の真相……………12月20日

■ 受講生のみなさまへ

空海は密教、真言密教、本覚思想、そして心の不思議に興味のある方、お待ちしております。

■ 教材

資料は適宜、配布いたします。



■ 講座

江戸時代の暮らしと文化 ～江戸の街の成立と生活文化～

■ 講師

塩入 亮 乗

[大正大学講師・浅草寺法善院住職]



■ 概要

曜 日＝水曜日 時 間＝3 限（13：20～15：00）

定員数＝30 名 受講料＝10,000 円

■ 講座紹介

江戸の文化は現在の私たちの生活に受け継がれています。本講座では江戸の街（東京）を中心にどのように街づくりがなされたか、人々の暮らしはどんなものであったのか、また、江戸の文化は現在の私たちの生活の中にどのように受け継がれているのか、さらに外国人から見た日本人はどのように評価されていたかなどといったことを通じて江戸散歩（東京散歩）にも役立つような講座にしたいと思います。

■ 講義内容（全 5 回）

- 第 1 回 江戸の街づくり…………… 10 月 26 日
- 第 2 回 江戸の暮らし…………… 11 月 30 日
- 第 3 回 江戸の学問と史跡…………… 12 月 21 日
- 第 4 回 江戸の民間信仰 …………… 1 月 25 日
- 第 5 回 江戸の民俗歳時記 …………… 2 月 22 日

■ 教材

資料は適宜、配布いたします。



■ 講座

臨床仏教入門 ～仏教と看護～

■ 講師

吉水 岳彦

[大正大学非常勤講師]



■ 概要

曜 日＝金曜日 時 間＝6 限（18：10～19：50）

定員数＝30 名 受講料＝10,000 円

■ 講座紹介

仏教的な視点から看護の対象となる人間存在を見つめなおすことを通じて、「生老病死」する“いのち”に触れる行為の厳かさを感じてもらい、全人的ケアに欠かせない「尊厳」という領域の重要性を再確認してもらいます。また、日本の医療や看護の現場における宗教、とりわけ仏教の智慧と慈悲と平等の精神をもって患者とかかわることの意味を考えます。

■ 講義内容（全 5 回）

- 第 1 回 看護と宗教 10 月 7 日
- 第 2 回 看護と仏教① 10 月 21 日
- 第 3 回 看護と仏教② 11 月 11 日
- 第 4 回 「死」を見つめるワーク..... 11 月 25 日
- 第 5 回 仏眼相看 ―敬聴を学ぶ―..... 12 月 9 日

■ 受講生のみなさまへ

はじめまして、吉水岳彦と申します。本講座では、みなさまと一緒に、現実社会において仏教の慈悲と智慧をいかに実践すべきかを考えてまいります。

入門編ですので、僧侶も僧侶でない方もお気軽にご参加くださいませ。

■ 教材

資料は適宜、配布いたします。
筆記用具をお持ちください。



■ 講座

仏さまを描く ～写仏と彩色～

■ 講師

腰塚 勝也

[遍照院 住職]



■ 概要

曜 日＝水曜日 時 間＝3・4 限（13：20～16：30）

定員数＝30 名 受講料＝12,800 円

■ 講座紹介

計 4 回の開催、また 2 年ぶりの再開ということであり、初めて仏画に挑戦してみようという方には美農紙に墨線でお手本をなぞる「写仏」を、また、2 年目以降の方はそれぞれ製作中の彩色の仏画や新たな作品に取り組んでいただきます。

■ 講義内容（全 4 回）

第 1 回 仏画概説・工程の説明 …………… 10 月 12 日

第 2 回 白描と彩色 ① …………… 11 月 16 日

第 3 回 白描と彩色 ② …………… 12 月 14 日

第 4 回 白描と彩色 ③ …………… 1 月 11 日

■ 教材

初回にお手本等の教材の説明をいたします。



■ 講座

あなたにも楽しめる仏像彫刻① ～お地蔵さまを彫る～

■ 講師

榎本 宣道

[仏師・NPO 法人仏像彫刻美術院 理事長]



■ 概要

曜 日＝金曜日 時 間＝5・6 限（17：45～20：15）

定員数＝12 名 受講料＝9,300 円

■ 講座紹介

ほとんどの方は仏像彫刻が初めてなので、中学校以来、彫刻刀を握っていなくても大丈夫です。講師が半面を彫るので、他面を真似して彫ります。設計図を材に貼るので、目、鼻、口、耳などの手書きは不要です。

■ 講義内容（全 3 回）

第 1 回 安全な運刀を学びながら材を円柱に彫る ……10 月 14 日

第 2 回 設計図を円柱に貼り各部を彫る ……11 月 11 日

第 3 回 設計図に沿って全体を彫り上げる ……12 月 9 日

■ 教材

彫刻刀の購入が必要です。（初めは 1 本 3,500 円）

彫刻刀の貸出し（1 回 500 円）も可能です。

（※どちらも事前に当局まで申込をしてください）

材料は 1,000～4,000 円程度

筆記用具・ものさしをお持ちください。



■ 講座

あなたにも楽しめる仏像彫刻② ～観音さまを彫る～

■ 講師

榎本 宣道

[仏師・NPO 法人仏像彫刻美術院 理事長]



■ 概要

曜 日＝金曜日 時 間＝5・6 限（17：45～20：15）

定員数＝12 名 受講料＝9,300 円

■ 講座紹介

前コースを終了した方が次に選ぶ、合掌している「観音さま」を彫る講座です。

今回が初めての方は前コースの内容を学べます。以前から学ばれている方も、一人一人異なった自分の気に入った像を学ぶことになります。自分の「仏さま」と接する楽しい時間をお過ごしください。

■ 講義内容（全 3 回）

第 1 回 安全な運刀を確認しつつ円柱を彫る …………… 1 月 13 日

第 2 回 設計図を円柱に貼り各部を彫る …………… 2 月 10 日

第 3 回 設計図に沿って全体を彫り上げる …………… 3 月 24 日

■ 教材

彫刻刀の購入が必要です。（初めは 1 本 3,500 円）

彫刻刀の貸出し（1 回 500 円）も可能です。

（※どちらも事前に当局まで申込をしてください）

材料は 1,000 ～ 4,000 円程度

筆記用具・ものさしをお持ちください。



■ 講座

はじめての仏像彫刻入門①

～掌に乗るお地蔵さまから始めよう～

【10月～12月】



■ 講師

浅葉 哲休

[仏師・NPO 法人仏像彫刻美術院 会員]

■ 概要

曜 日＝木曜日 時 間＝4・5 限（15：15～17：45）

定員数＝10 名 受講料＝15,500 円

■ 講座紹介

「仏像を見るとホッとする。シアワセな気持ちになれる。自分でも彫ってみたいけど、むずかしそう」そんなふうに思っている方のための入門講座です。まずはヒノキのすがすがしい香りに包まれて、シンプルで愛らしいお地蔵さまをご自身の手で彫り出してみませんか。急がず、やさしく、心はまるく……。安全な彫刻刀の使い方と基本知識・技術を身につけながら、やすらぎのひとつときをたのしむ5回コースです。

■ 講義内容（全5回）

- 第1回 彫刻刀の使い方、道具と材料のこと……………10月13日
- 第2回 設計図の読み方、お手本もしっかり見つめて……………10月27日
- 第3回 四角い木片から少しずつ仏さまの姿が……………11月10日
- 第4回 お顔はいのち、基本的な手順をしっかり学ぶ……………11月24日
- 第5回 全体ができたらもう一度じっくり見直し、完成！…12月 8日

■ 教材

彫刻刀（当初2～3本使用）：初回授業で説明しますので知識・経験は不要です。希望者には教室での購入（1本3,000～3,500円）や貸出し（砥ぎ代として1日300円）も可能です。その場合は「利き腕」を明示のうえ事前に申込みしてください。彫刻刀をすでにお持ちの方は持参してください。ほかに15cm程度の定規（これも初回に説明します）、鉛筆（芯の細いHB程度）、消しゴム、筆記具など。

※教材費別途。初回教材費は1,000円（稚児地蔵菩薩・木曾檜、設計図付き）。



■ 講座

はじめての仏像彫刻入門②

～清々しいヒノキの香りに包まれて～

【1月～3月】

■ 講師

浅葉 哲休

[仏師・NPO 法人仏像彫刻美術院 会員]



■ 概要

曜 日＝木曜日 時 間＝4・5 限（15：15～17：45）

定員数＝10 名 受講料＝15,500 円

■ 講座紹介

まったくの未経験者でも、彫刻刀の安全な使い方、木材の見方や扱い方を覚えながら、無理なくやさしく基本を学ぶ入門講座です。初めての方は、まずは掌に乗る小さなヒノキの「お地藏さま」を彫りあげます。

2 作目からは一人ひとり進捗具合や希望に応じて講師と相談しながら進めていくことができます。たとえば、基本は 1 作目と同様でも、髪を結び上げた頭のかたちがお地藏さまよりちょっと複雑な、「稚児観音」はいかがでしょうか。

■ 講義内容（全 5 回）※ 2 作目からの一例：稚児観音の場合

第 1 回 運刀の基本を再確認、角棒から円筒へ…………… 1 月 19 日

第 2 回 頭部と胴体を分け全体の輪郭を彫り出す…………… 1 月 26 日

第 3 回 お顔も少しずつカタチにしていけます…………… 2 月 9 日

第 4 回 髪がちょっと複雑？ でも手順を知れば…………… 2 月 16 日

第 5 回 全体調整、木肌も丁寧に整えて仕上げ！…………… 3 月 2 日

■ 教材

彫刻刀（当初 2～3 本使用）：初回授業で説明しますので知識・経験は不要です。希望者には教室での購入（1 本 3,000～3,500 円）や貸出し（砥ぎ代として 1 日 300 円）も可能です。その場合は「利き腕」を明示のうえ事前に申込みしてください。彫刻刀をすでにお持ちの方は持参してください。ほかに 15cm 程度の定規（これも初回に説明します）、鉛筆（芯の細い HB 程度）、消しゴム、筆記具など。

※教材費別途。初回教材費は 1,000 円（稚児地藏菩薩・木曾檜、設計図付き）。



■ 講座

写経と法話の会

■ 講師

間正晃也

[大正大学魅力化推進室 BSR 推進担当 事務主幹]



■ 概要

曜 日＝金曜日 時 間＝2 限（10：50～12：30）

定員数＝30 名 受講料＝2,000 円（教材費込み）

■ 講座紹介

仏さまの教えが書かれている「お経」。その経文の一文字一文字に「仏さま」を感じ、書き写すのが「写経」です。仏さまの教えについて易しい言葉でお話する「法話」と組み合わせた講座です。

■ 講義内容（全 5 回）

- 第 1 回 写経と法話①…………… 11 月 18 日
- 第 2 回 写経と法話②…………… 12 月 23 日
- 第 3 回 写経と法話③…………… 1 月 20 日
- 第 4 回 写経と法話④…………… 2 月 10 日
- 第 5 回 写経と法話⑤…………… 3 月 3 日

■ 教材

こちらで筆ペンを用意しますが、サインペン等ご自分で書きやすい筆記用具をお持ちいただいても結構です。



特別講座

第 1 回 (S1)

■概要

日程＝9月24日（土） 時間＝3限・4限（13：20～16：40）

場所＝大正大学（7号館1階711教室） 定員数＝200名 受講料＝4,000円



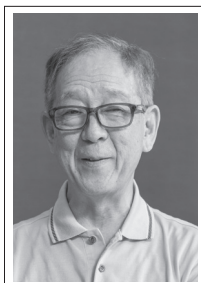
■講座

「地域共生社会」と「ケア」の文化を考える

村木厚子（津田塾大学 客員講師）

■講座紹介

私達の周りには生きづらさを抱えた人がたくさんいます。近年、福祉の分野ではその人たちに伴走して、地域の社会資源、地域の住民とのつながりを創ることの重要性が注目されています。そうした中で、「ケア」の文化を果たす役割を考えます。



■講座

新たなケアの文化と地域社会～精神文化の役割の変容～

島蘭 進（大正大学客員教授・東京大学名誉教授）

■講座紹介

コロナ禍は孤独化・孤立化が進む現代社会の弱さを露わにした。だが、この間にも子ども食堂は増加するなど新たなケアの文化が地域社会のあり方を変えてきている。そこでの仏教やスピリチュアリティの役割について考えたい。

第 2 回 (S2)

■概要

日程＝10月8日（土） 時間＝3限・4限（13：20～16：40）

場所＝大正大学（7号館1階711教室） 定員数＝200名 受講料＝4,000円



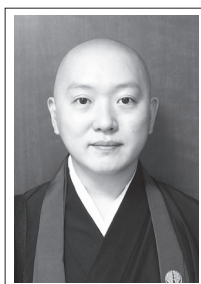
■講座

看取りと仏教

大塚伸夫（大正大学前学長・大正大学仏教学部教授）

■講座紹介

いまから48年前、発表者が実家において、高校二年生の夏休みに体験した寝たきり祖母の介護と看取りを通じての所感を取り上げたい。すなわち、今でいうヤングケアラーに相当する立場になったのである。そしてこれが僧侶を志したという人生の転機になった話を通じて、仏教と地域社会のつながりを考えてみたい。



■講座

都市における孤立と仏教的な支縁

吉水岳彦（大正大学非常勤講師）

■講座紹介

コロナ禍は貧困や格差によって増幅された差別や不平等の問題、及び、経済的・人間関係的に困窮した末に孤立する人々の困難な現状を顕在化させた。そんな都市における孤立等の問題に対して、仏教寺院や僧侶がいかに向き合うことができるのか、浅草山谷地域の事例をもとに論じる。

第3回 (S3)

■概要

日程＝10月29日（土） 時間＝3限・4限（13：20～16：40）

場所＝大正大学（7号館1階711教室） 定員数＝200名 受講料＝4,000円



■講座

支援は地域・現場・当事者の視点で

片山善博（大正大学地域構想研究所所長）

■講座紹介

被災者や障害のある人などの支援には既存の制度に沿った対応が求められる。ただ、真に必要なとする支援と制度との間にはズレがあることが多い。それをどうやって克服するか、自らの実践からいくつかの事例を紹介したい。



■講座

地域の多様な組織・団体との連携と協働

～地域共生社会の実現に向けて～

神山裕美（大正大学社会共生学部教授）

■講座紹介

各地で総合相談、参加支援、地域づくり等に取り組みが行われています。地域共通課題への分野や領域を超えた連携と協働の進め方について、事例に基づき共に考えていきましょう。

開催にあたって

少子高齢化、また大都市への人口集中と地域社会の人口減少、ひいては過疎化が進むなか、人々の個人化、孤立化も目立つようになってきています。とりわけ新型コロナウイルス感染症の流行により、人と人との距離が広がり、日々の辛さ、寂しさが大きなストレスとして認識もされました。

こうしたなかで、全国的に地域社会で孤立化しがちな人たちや弱い立場の人たちに対して、また住民相互の間で新たなケアのあり方が模索され、試みられています。行政が推進しようとしている地域包括ケアも住民の自発的な関与なしには成果がおぼつかないところでしょう。行政や医療・介護・保育等の機関だけでなく、市民の参加とともに、仏教寺院や神社や教会などの宗教施設や宗教者の貢献も期待されています。医療・介護施設と家族に委ねがちであったケアを新たな形や新たな場で提供しようとする試みも見られます。

こうしたケアの分野の試みは地域創生の重要な一角をなすものともなりえます。このオープンカレッジでは以上のような観点から、「地域社会とケアの文化―地域社会で求められるケア―」について、皆さんとともに考えてまいりたいと思います。

大正大学客員教授・東京大学名誉教授 島蘭 進

2022

TAISHO UNIVERSITY

Calligraphy College

大正大学

書道カレッジ

基礎からの書道／篆書・隸書
仮名書／仏教書道／篆刻



「虎」 甲骨

毎日新聞社 後援

大正大学書道カレッジのご講座案内

大正大学書道カレッジでは、中国や日本の数々の名蹟など芸術性の高い書から、生活の中の実用的な書も気軽に学べます。ここでは受講生のレベル・学習目的に応じて指導しますので、筆を持ったことがない方でも安心して受講できます。また、昼・夜の各講座、各自のライフスタイルに合わせ学ぶことができます。流派にとらわれない当書道カレッジでは、誰でも受講することができます。豊かな歴史、そして無限の楽しみをもった書の世界を、あなたも体験してみませんか。

A. 基礎コース

SA1	書道入門講座 ～基本から創作まで～	赤 平 泰 処 鈴 木 蓮 徑	25
SA2	基礎からの書道 ～『蘇東坡』の詩を書く～	荒 木 大 樹	26
SA3	書に親しむ	山 中 翠 谷	27

B. 専攻コース

SB1	篆隸書法 ～初歩から創作まで～	赤 平 泰 処	28
SB2	楽しい仮名書	大 石 三 世 子	29
SB3	篆刻を楽しむ	池 田 光 希	30
SB4	篆刻実践講座 ～基礎から創作まで～	池 田 光 希	31

C. スペシャルコース

SC1	書道に親しむ ～書之美を見つめて～	赤 平 泰 処	32
SC2	仏のこたばを書く ～こころの書を求めて～	赤 平 泰 処	33
SC3	秋の書道特別講習会	石 飛 博 光 大 石 三 世 子	34

大正大学書道カレッジ講座申込のご案内	35
個人情報の取扱いについて	37
新型コロナウイルス 感染拡大防止及び入構について	38
講座申込ハガキ	巻末

2022年度書道カレッジ時間割

時間割	2 限	3 限	4 限	6 限
	10:50 - 12:20	12:10 - 14:50	15:10 - 16:40	18:10 - 19:40
月				SA1 書道入門講座 赤平 泰処 鈴木 蓮徑
火		SC2 仏のことばを書く 赤平 泰処		SA3 書に親しむ 山中 翠谷
水	SB1 篆隸書法 赤平 泰処			
木	SA2 基礎からの書道 荒木 大樹	SB3 篆刻を楽しむ(A) 池田 光希	SB3 篆刻を楽しむ(B) 池田 光希	SB2 楽しい仮名書 大石 三世子 SB4 篆刻実践講座 池田 光希
金	SC1 書道に親しむ 赤平 泰処			
11月27日 のみ開講	SC3 11月27日(日) 10:30 ~ 14:30 書道特別講習会(大石三世子・石飛博光)			

■当書道カレッジでは

- 使い慣れた書道用具をお持ちください。

半紙などの書道用具は、5号館1階の学内売店(T-map)で購入することができます。

- 途中参加も可能です。

詳細は5号館1階の大学事業法人 株式会社ティー・マップまでお問い合わせください。



監修・講師Ⅰ
赤平泰処

[大正大学名誉教授・毎日書道会理事]



講師Ⅱ
鈴木蓮徑

[毎日書道展審査会員]

概要

曜 日＝月曜日

時 間＝6限（18：10～19：40）

定員数＝30名

回 数＝12回

受講料＝24,000円

講座紹介

当講座は『書の技法―楷書・行書編―』のテキストを使用しながら、行書を基礎からしっかりと学んでいきます。初心者から専門的に学ぼうとする人まで受講生の資質・能力に応じて個別指導をします。希望があれば、他の書体や創作作品の添削もいたします。継続受講者には、新たな課題も提供します。

講座内容

10月	01. 行書の基礎＜基本筆法を学ぶ＞ 17日※	12月	07. 行書五文字を書く②	19日
	02. 行書二文字を書く① 24日	1月	08. 王羲之の行書①	16日※
	03. 行書二文字を書く② 31日		09. 王羲之の行書②	30日
11月	04. 行書四文字を書く① 7日	2月	10. 王羲之の行書③	6日
	05. 行書四文字を書く② 28日		11. 顔真卿の行書①	27日
12月	06. 行書五文字を書く① 5日	3月	12. 顔真卿の行書②	6日※

※講師Ⅰ＝赤平泰処先生担当（変更になる場合があります）

教材・その他

※テキスト：赤平泰処著『書の技法―楷書・行書編―』920円（税込）を使用します。

お持ちでない方は、初回までに学内売店〔5号館1階〕にてお求めください。

※参考資料：赤平泰処著『古典の技法―楷書』、『古典の技法―行書・草書』もあります。

講師

荒木大樹

[毎日書道展審査会員]



概要

曜 日＝木曜日

時 間＝2 限（10：50～12：20）

定員数＝30 名

回 数＝12 回

受講料＝24,000 円

講座紹介

蘇東坡は中国、宋代における第一流の人物として崇拜され、「宋代が生んだマルチ文人」とも称されます。

本職は官僚でありましたが、権力闘争に巻き込まれ、

波乱万丈の生涯を送ります。その環境の中で書・詩・詞・絵画・仏教・料理など多才を発揮しました。

その詩を書いてみましょう。臨書も蘇東坡の『黄州寒食詩巻』を学習します。

また個人の興味ある書体にも対応いたします。

講座内容

10 月	01. 行書の基本	20 日
11 月	02. 『和陶歸園田居』第三首①	10 日
	03. 『和陶歸園田居』第三首②	17 日
12 月	04. 『和陶歸園田居』第四首①	1 日
	05. 『和陶歸園田居』第四首②	22 日
1 月	06. 『和陶歸園田居』第四首③	12 日
	07. 『和陶歸園田居』第四首④	26 日
2 月	08. 『過淮』①	9 日
	09. 『過淮』②	16 日
3 月	10. 『過淮』③	2 日
	11. 『過淮』④	16 日
	12. 『過淮』⑤	23 日



「分陀利華」

講師

山中翠谷

[毎日書道会総務・(公財)独立書人団常務理事]



概要

曜 日＝火曜日

時 間＝6限(18:10～19:40)

定員数＝30名

回 数＝12回

受講料＝24,000円

講座紹介

用筆法に特徴のある代表的な楷書の基本を学んでいきます。

初歩から中級程度まで楽しく学べるよう、中国・日本の名蹟をやさしく解説しながら、授業をすすめていきます。

今回は温雅な書、重厚な書、峻厳な書、軽快な書として各楷書古典を学びます。

講座内容

10月	01. 楷書に親しむ<智永・関中本千字文①>	25日
	02. 楷書に親しむ<智永・関中本千字文②>	8日
11月	03. 楷書に親しむ<智永・関中本千字文③>	15日
	04. 楷書に親しむ<顔真卿・自書告身①>	29日
12月	05. 楷書に親しむ<顔真卿・自書告身②>	6日
	06. 楷書に親しむ<顔真卿・自書告身③>	20日
1月	07. 楷書に親しむ<魏靈藏造像記①>	17日
	08. 楷書に親しむ<魏靈藏造像記②>	24日
2月	09. 楷書に親しむ<魏靈藏造像記③>	7日
	10. 楷書に親しむ<褚遂良・雁塔聖教序①>	14日
3月	11. 楷書に親しむ<褚遂良・雁塔聖教序②>	7日
	12. 楷書に親しむ<褚遂良・雁塔聖教序③>	14日



「知行」

講師

赤平泰処

[大正大学名誉教授・毎日書道会理事]



概要

曜 日＝水曜日

時 間＝2 限（10：50～12：20）

定員数＝30 名

回 数＝6 回

受講料＝12,000 円

講座紹介

篆書・隸書を学んで、文字造形、書風の特徴、線質など、独自の表現方法を学びます。

字源を理解することも大切な要素です。書の知的部分を説いていきます。

篆書・隸書が初めての方にも個別に指導します。

講座内容

11 月	01. 石門頌	16 日
12 月	02. 木簡の書	7 日
1 月	03. 篆書の書風と書法	25 日
2 月	04. 泰山刻石	8 日
	05. 清人の書①	22 日
3 月	06. 清人の書②	8 日



「雲行雨施」

教材・その他

※テキスト：赤平泰処『書の技法―隸書・篆書編―』1,120 円（税込）を使用します。

お持ちでない方は、初回までに学内売店〔5 号館 1 階〕にてお求めください。

講師

大石 三世子

[日展会友・読売書法会理事]



概要

曜 日＝木曜日

時 間＝6限（18：10～19：40）

定員数＝30名

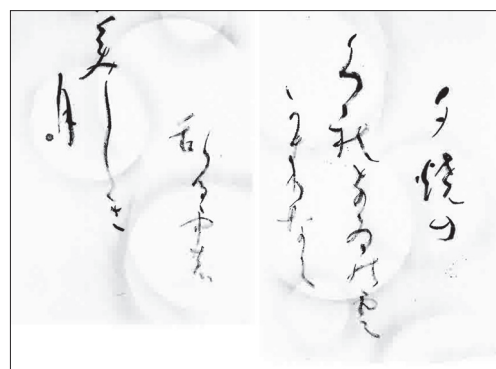
回 数＝12回

受講料＝24,000円

講座紹介

基礎をしっかり身につけて、住所・名前から
優美な古典の臨書など手習いしていきます。
各自の感性を生かし、独自の作品を仕上げる
ように学んでいきます。受講生のレベルに応
じて個別指導していきます。

希望の方は、大きな創作作品も添削いたしま
すので、お申し出ください。



夕焼けのくれなゐの雲限りなく
乱るる中の美しき月」（与謝野晶子 歌）

講座内容

10月	01. 小筆で住所・名前を書く①	20日
	02. 小筆で住所・名前を書く②	27日
11月	03. 熨斗袋に書く①	10日
	04. 熨斗袋に書く②	24日
12月	05. 変体仮名①	8日
	06. 変体仮名②	22日
1月	07. いろは…＜基礎をしっかり学ぶ＞①	12日
	08. いろは…＜基礎をしっかり学ぶ＞②	26日
2月	09. いろは…＜基礎をしっかり学ぶ＞③	9日
3月	10. いろは…＜基礎をしっかり学ぶ＞④	2日
	11. 二字連錦＜連錦線の変化＞①	9日
	12. 二字連錦＜連錦線の変化＞②	23日

講師

池田光希

[毎日書道展審査会員]



概要

曜 日＝木曜日

時 間＝A コマ 3 限（13：20～14：50）

B コマ 4 限（15：10～16：40）

定員数＝20 名

回 数＝6 回

受講料＝30,000 円

講座紹介

新しい発想で篆刻に向き合うということより、「先人はいかに篆刻を楽しみ、学んできたか」が、この講座のテーマです。

今回は特に、昭和期に活躍した印人の作品を鑑賞しながら、実作に活かしてみましょう。また、受講生の感性も大切にしながら、篆刻を楽しんでいただきます。



「懼百世之譏」（7×7cm）

講座内容

10 月	01	A. 篆刻とは？（印の歴史） B. 篆刻とは？（用具材等）	13 日
11 月	02	A. 篆書について①（篆書体の名称とその応用） B. 篆書について②（字書や用語の説明）	17 日
12 月	03	A. 印の制作の流れ B. 印の制作の流れと準備	15 日
1 月	04	A. 印稿制作①（イメージを決める） B. 印稿制作②（検字）	19 日
2 月	05	A. 自分の姓名号印の制作① B. 自分の姓名号印の制作②	16 日
3 月	06	A. 自分の姓名号印の制作③ B. 自分の姓名号印の制作④	9 日

※受講の状況により、内容は前後する場合があります。

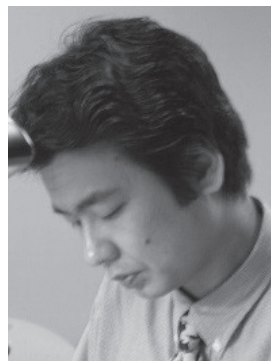
教材・その他

用意するもの：篆刻用具一式、印材など。初心者の方は、初回到道具の確認とアドバイスサポートをいたします。

講師

池田光希

[毎日書道展審査会員]



概要

曜 日＝木曜日

時 間＝6限（18：10～19：40）

定員数＝20名

回 数＝5回

受講料＝12,500円

講座紹介

「篆刻の魅力とは？」そこをいろいろな角度で探ってみましょう。印の制作については、次の課題が合理的に作業できるよう指導します。また、受講生のレベルに応じて課題を提供していきます。名家の作品を鑑賞しながら実作に取り組み、篆刻の魅力を感じてください。



「高者憂深」（3.3×3.3cm）

講座内容

10月	01. 篆刻とは？（印の歴史・道具や用語の説明など）	13日
11月	02. 制作の流れ（印材の下準備・検字・印稿等）	17日
12月	03. 実践（自由課題）①（印稿・印面への転写＜布字＞）	15日
1月	04. 実践（自由課題）②（布字の完成→刻る）	19日
2月	05. 実践（自由課題）③（刻った印の添削→完成）	16日

※受講の状況により、内容は前後する場合があります。

教材・その他

用意するもの：篆刻用具一式、印材など。初心者の方は、初回到道具の確認とアドバイスサポートをいたします。

■スペシャルコース 書道に親しむ ～書的美を見つめて～ SC1

講師

赤平 泰 処

[大正大学名誉教授・毎日書道会理事]



概要

曜 日＝金曜日

時 間＝2 限（10：50～12：20）

定員数＝30 名

回 数＝6 回

受講料＝12,000 円

講座紹介

古典の美を見つめながら臨書して、自分の書を作っていくポイントを学びます。書風の特徴、作者と作品の関連などを解説しながら、表現技法を理解して、楽しく学んでいきましょう。

講座内容

10 月	01. 王献之を学ぶ	21 日
	02. 褚遂良を学ぶ①	28 日
11 月	03. 褚遂良を学ぶ②	11 日
	04. 文徵明を学ぶ①	25 日
12 月	05. 文徵明を学ぶ②	9 日
1 月	06. 書き初め	13 日



「麟鳳」

教材・その他

書道用具が必要です。最低限として筆は各自で用意してください。

※硯、文鎮、下敷きは教室でもお貸しします。

※墨液、半紙などの消耗品は、講座で用意しています。

※テキスト：赤平泰処著『古典の技法―行書・草書』1,120 円（税込）を使用します。

お持ちでない方は、初回までに学内売店〔5 号館 1 階〕にてお求めください。

講師

赤平 泰 処

[大正大学名誉教授・毎日書道会理事]



概要

曜 日＝火曜日

時 間＝3限（13：20～14：50）

定員数＝30名

回 数＝6回

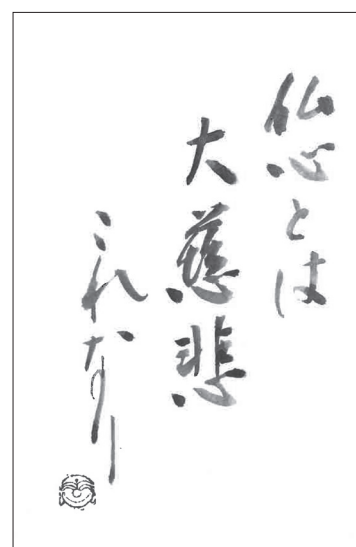
受講料＝12,000円

講座紹介

仏のことばや名僧の書を鑑賞しながら
清浄な書を実際に筆を持って書いていきます。
美しい心の書を学びましょう。

講座内容

11月	01. 最澄の書とことば	15日
12月	02. 空海の書とことば	6日
1月	03. 法然の書とことば	10日
	04. 道元のことばを書く	24日
2月	05. 良寛のことばを書く	7日
	06. 仏のことばを表現する	21日



「仏心とは大慈悲これなり」
(仏説観無量寿經)

教材・その他

書道用具が必要です。最低限として筆は各自で用意してください。

※墨液、半紙などの消耗品は講座で用意しています。



<午前の部>

美しいかな美
～俳句・短歌を書く～

講師

大石三世子

[日展会友・読売書法会理事]



<午後の部>

漢字
～古典の臨書～

講師

石飛博光

[大正大学客員教授・毎日書道会常任顧問]

概要

日 程＝11月27日(日)

時 間＝午前の部 10:30～12:00 / 午後の部 13:00～14:30

受講料＝4,000円(2講座セット)

講座紹介

多くの書体にふれ、学ぶことができる集中講座として、1日特別講習会を開講します。本年度は「仮名」と「漢字」をテーマに、今、最も注目されている代表作家に、作品制作の要領や独自の表現方法を実技指導していただきます。

当講習会は、まず書体を基本から学び、最後には創作作品を書いていきます。また講師による席上揮毫も実施いたします。いろいろな書体に触れ、自分自身の「新しい創作の目」を発見していきましょう。専門的に学ぶ人から、初心者の方までどなたでも受講できます。書に親しみ、芸術を満喫してみませんか。

■用意するもの

午前 の 部	<p>◎午前の部持ち物 半紙(仮名用)、半切1/3サイズ(仮名用)、小筆(仮名用)、 あれば中筆(漢字用でも可)</p> <p>◎参考テキスト 『かなの美を学ぶ 散らし書き』(大石三世子著・日貿出版社) 定価:2,600円<税別></p>	<p>◎共通の持ち物</p> <ul style="list-style-type: none"> ●書道用具一式 ●下敷 ●カッター ●新聞紙(机・床用) ●雑巾等
	<p>◎午後の部持ち物 半紙(漢字用)、半切1/3サイズ(漢字用)、大筆(3～5号)</p> <p>◎参考テキスト 『古典渉獵20集』(石飛博光著・芸術新聞社) 定価:1,900円<税別></p>	

※午前・午後の部とも、参考テキストをお持ちの方はご持参ください。必ずしも購入する必要はありませんが、希望の方には当日会場にて販売いたします。

ただし事前に受講申込書(巻末)に購入希望のテキスト名を記入し、お申込みください。

(テキスト申込みは10月26日まで)当日、代金引き換えでテキストをお渡しします。

※申込み期限を過ぎますと、お渡しできない場合があります。

大正大学オープンカレッジ講座申込方法のご案内

1. 名 称：大正大学オープンカレッジ

2. 会員登録：大正大学オープンカレッジの各講座を受講する際は、会員登録していただくことを原則とします。（一部の講座を除く）

3. 受講資格：会員の方であればどなたでも受講可能です。

4. 事務手数料（オープンカレッジ／書道カレッジ共通）

①新規・継続会員：500 円

※有効期限は半年間（令和 4 年度）

②本学関係者（本学学生・在学生保護者・卒業生・教職員）：無料

5. 講座の申込み

（1）申込書（巻末ハガキ）、官製ハガキ、FAX、大正大学ホームページ（9 月より受付開始予定）よりお申込みいただけます。

※お電話での申込は受付けておりません。

※定員を超えた場合は、入金先着順となります。

①氏名（ふりがな） ②性別 ③住所 ④電話番号 ⑤年代 ⑥希望講座番号

⑦講座名を記入してお申込みください。

（2）受付終了後、「払込用紙」を送付します。

事務手数料と受講料は開講日の 7 日前までに振込をお願いします。入金の確認後、「受講証」を発送いたします。

※原則はお振込となりますが、大正大学窓口で受講料のお支払いをご希望の方は事前にご連絡のうえ、大正大学事業法人 株式会社ティー・マップ（5 号館 1 階までお越しください。

窓口での入金期間：開講日の 7 日前までの平日 10:00 ～ 16:00（12:00 ～ 13:00 を除く）

（3）受講証を当日会場にお持ちください。

6. 事務手数料・受講料の返金について

入金された事務手数料・受講料は原則としてご返金できません。

※ただし、当オープンカレッジの都合で講義を中止した場合は別とします。その場合でも事務手数料は返金できませんので、ご了承ください。

7. 受講キャンセルについて

キャンセルは、開講日の 14 日前までに、ご連絡ください。

なお、受講料の振込がないことをもって受講キャンセルとはみなしません。

必ず電話、FAX、E メール等でご連絡ください。ご連絡をいただけない場合、後日受講料等を請求させていただきます。

大正大学オープンカレッジ講座申込方法のご案内

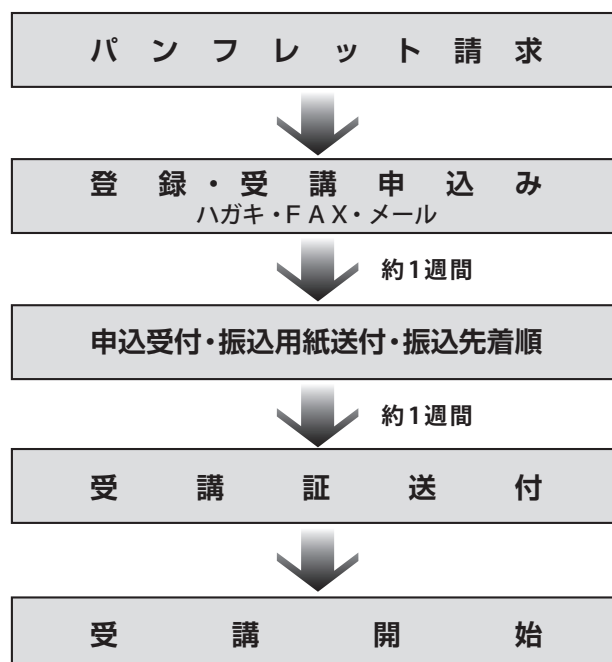
8. 受講者へのご連絡

会場は当日正門前に掲示いたします。本学（講師）の都合による変更等については事前にご登録の連絡先へお知らせいたします。

9. 受講上の注意

- ① 大学の行事および他講座の都合上、予定している講義日時・教室が変更になる場合があります。その場合は事前に連絡いたします。
- ② 講師の都合により、予定の講義日程が変更になることや、代講者による講義となる場合があります。
- ③ 講師の病気および交通機関の事情により、休講となった場合補講を開講いたします。
- ④ 開講日の14日前までに受講希望者が最小催行人数に達しない場合は開講を中止させていただきます。
- ⑤ 講義の録音・写真撮影は堅くお断りします。
- ⑥ 教室内で飲食・喫煙はご遠慮ください。
- ⑦ 教室内での講座目的以外の物品販売・勧誘・金品の授与はご遠慮ください。
- ⑧ 車での登校はご遠慮ください。
- ⑨ お子さま連れの受講はできません。
- ⑩ 貴重品は必ず手元におき、各自で管理してください。また受講中の盗難および登下校における事故等については責任を負いかねます。
- ⑪ 上記⑤～⑨および講師や他の受講者に迷惑をかけることがあった場合は、受講をお断りする場合があります。

■ 申込みから受講までの手続き



テキスト、教材、プリント等は講座当日に教室でお渡しします。

個人情報の取扱いについて

■個人情報の収集について（利用目的）

当大学は以下の目的のために個人情報を利用させていただきます。

- ① お申込の確認
- ② 各種ご案内（大学行事・特別公開講座・次年度のパンフレットなど）の送付
- ③ 受講証・会員証・修了証の送付
- ④ その他、講座運営に関わるご連絡（日程・教室の変更など）

■個人情報の外部委託

当大学は、下記に該当する場合を除いて、受講者の事前の同意なく、お預かりした個人情報を第三者に開示・提供いたしません。

- 前述の利用目的を遂行するため、個人情報の取扱いを外部に委託する場合
 - 法令に基づく場合
- なお、外部への委託に関しては、個人情報の管理水準が弊社の設定する安全対策基準を満たす企業を選定し、これについて適切な管理・監督を行います。

■個人情報の安全対策・管理について

個人情報への不正アクセス、紛失、破壊、改ざんおよび漏洩などに関する予防措置を講ずることにより、個人情報の安全性、正確性の確保をはかります。

万が一、問題が発生した場合も必要かつ適正な安全管理措置および更正措置を講じます。

■個人情報についてのお問い合わせ先

当オープンカレッジにおける個人情報に関するお問い合わせなどは、下記の連絡先までお願いいたします。

※なお、個人情報保護方針については、ホームページをご覧ください。

<http://www.t-map.net/doc/privacy.htm>

個人情報取扱い・問い合わせ窓口

大正大学事業法人 株式会社ティー・マップ
〒170-0001 東京都豊島区西巣鴨 3-20-1
電話：03-5907-3971 FAX：03-5907-3977
メール：privacy@t-map.net（個人情報問合せ窓口担当）

新型コロナウイルス 感染拡大防止及び入構について

■ キャンパス入構について

- ① 講座当日はご自宅で体温を測ったうえでご来校ください。
- ② 熱や咳、体調がすぐれない場合は入構を控えてください。
- ③ 通学時及びキャンパス内では必ずマスクを着用してください。
- ④ その他各自で感染予防をお願いいたします。

■ 対面受講について

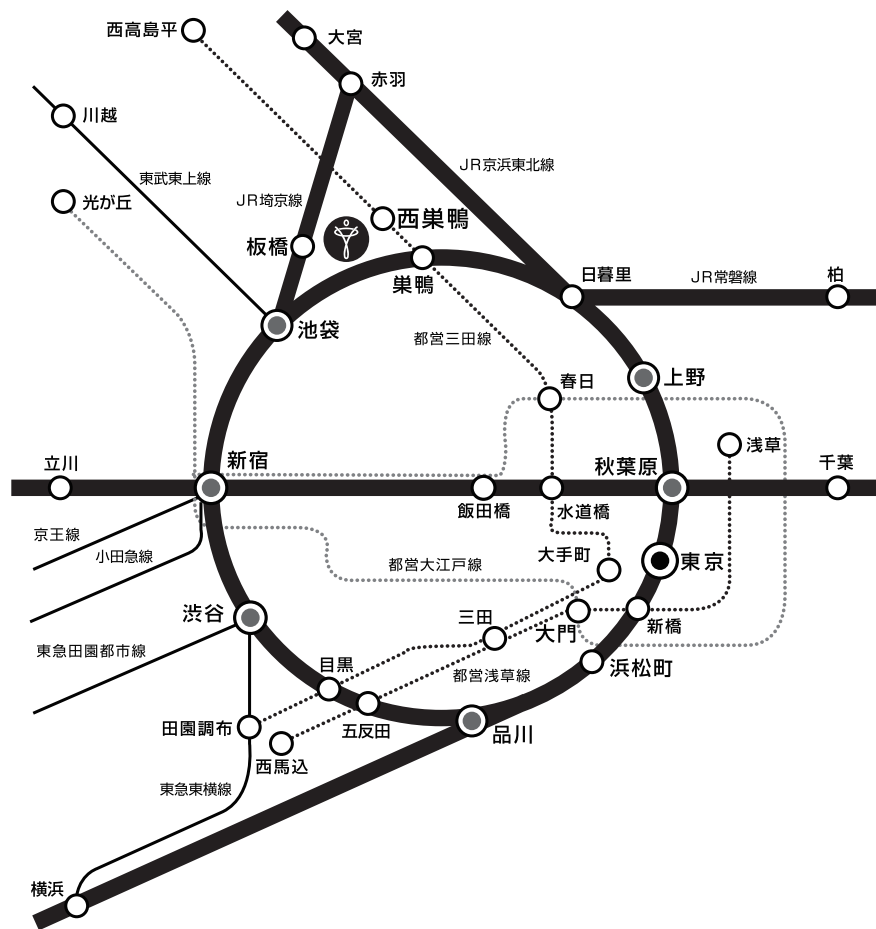
- ① 正門脇の守衛所にて検温を受けた上、受講証を提示してネームプレートをお受け取りください。ネームプレートは首からぶら下げて開講教室へお向かいください。
※退校時にはネームプレートを守衛所へ必ずご返却ください。
- ② 各号館、各教室に設置されている除菌液で手指の消毒をしてください。
- ③ 出席簿をご記入の際、合わせてご自宅で測っていただいた体温もご記入ください。
- ④ 教室内ではお隣の方と1席分以上の間隔をあけてご着席ください。
- ⑤ 教室内では水分補給以外の飲食はご遠慮ください。
- ⑥ 講座終了後は速やかにご退校ください。

※感染拡大の状況によっては講座を中止とさせていただく場合がございます。

MEMO

MEMO

■アクセスマップ



大正大学 オープン・書道カレッジ 受講申込書

※印がついている欄は必ずご記入ください。 お申込日：西暦 年 月 日

ふりがな ※					性 別 ※
氏 名 ※					男 ・ 女
住 所 ※	〒				
電 話 番 号 ※					
携 帯 電 話					
F A X					
メールアドレス					
年 代 ※	20代	30代	40代	50代	
	60代	70代	80代	その他	
オープンカレッジ事務手数料 いすれかに○をしてください					
	一般登録者				500円
	本学関係者（本学学生・在学生父兄・卒業生・教職員）				0円
受 講 希 望 講 座					
	講座番号	講 座 名	受 講 料		
①			円		
②			円		
③			円		
④			円		
⑤			円		
合 計（事務手数料+受講料）				円	

上記のとおり、申し込みます。

受付番号:

➤8キリトリ線

大正大学 オープン・書道カレッジ 受講申込書

※印がついている欄は必ずご記入ください。 お申込日：西暦 年 月 日

ふりがな ※					性 別 ※
氏 名 ※					男 ・ 女
住 所 ※	〒				
電 話 番 号 ※					
携 帯 電 話					
F A X					
メールアドレス					
年 代 ※	20代	30代	40代	50代	
	60代	70代	80代	その他	
オープンカレッジ事務手数料 いすれかに○をしてください					
	一般登録者				500円
	本学関係者（本学学生・在学生父兄・卒業生・教職員）				0円
受 講 希 望 講 座					
	講座番号	講 座 名	受 講 料		
①			円		
②			円		
③			円		
④			円		
⑤			円		
合 計（事務手数料+受講料）				円	

上記のとおり、申し込みます。

受付番号:

➤8キリトリ線

大正大学 オープン・書道カレッジ 受講申込書

※印がついている欄は必ずご記入ください。 お申込日：西暦 年 月 日

ふりがな ※					性 別 ※
氏 名 ※					男 ・ 女
住 所 ※	〒				
電 話 番 号 ※					
携 帯 電 話					
F A X					
メールアドレス					
年 代 ※	20代	30代	40代	50代	
	60代	70代	80代	その他	
オープンカレッジ事務手数料 いすれかに○をしてください					
	一般登録者				500円
	本学関係者（本学学生・在学生父兄・卒業生・教職員）				0円
受 講 希 望 講 座					
	講座番号	講 座 名	受 講 料		
①			円		
②			円		
③			円		
④			円		
⑤			円		
合 計（事務手数料+受講料）				円	

上記のとおり、申し込みます。

受付番号:

➤8キリトリ線

大正大学 オープン・書道カレッジ 受講申込書

※印がついている欄は必ずご記入ください。 お申込日：西暦 年 月 日

ふりがな ※					性 別 ※
氏 名 ※					男 ・ 女
住 所 ※	〒				
電 話 番 号 ※					
携 帯 電 話					
F A X					
メールアドレス					
年 代 ※	20代	30代	40代	50代	
	60代	70代	80代	その他	
オープンカレッジ事務手数料 いすれかに○をしてください					
	一般登録者				500円
	本学関係者（本学学生・在学生父兄・卒業生・教職員）				0円
受 講 希 望 講 座					
	講座番号	講 座 名	受 講 料		
①			円		
②			円		
③			円		
④			円		
⑤			円		
合 計（事務手数料+受講料）				円	

上記のとおり、申し込みます。

受付番号:

➤8キリトリ線

郵便はがき

料
金
受
取
人
払
郵
便

豊島局承認

2632

差出有効期間
2024年8月
31日まで

1708780

013

東京都豊島区西巣鴨3-20-1

大正大学

オープンカレッジ係

(書道カレッジ)



郵便はがき

料
金
受
取
人
払
郵
便

豊島局承認

2632

差出有効期間
2024年8月
31日まで

1708780

013

東京都豊島区西巣鴨3-20-1

大正大学

オープンカレッジ係

(書道カレッジ)



郵便はがき

料
金
受
取
人
払
郵
便

豊島局承認

2632

差出有効期間
2024年8月
31日まで

1708780

013

東京都豊島区西巣鴨3-20-1

大正大学

オープンカレッジ係

(書道カレッジ)



郵便はがき

料
金
受
取
人
払
郵
便

豊島局承認

2632

差出有効期間
2024年8月
31日まで

1708780

013

東京都豊島区西巣鴨3-20-1

大正大学

オープンカレッジ係

(書道カレッジ)

